

1 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

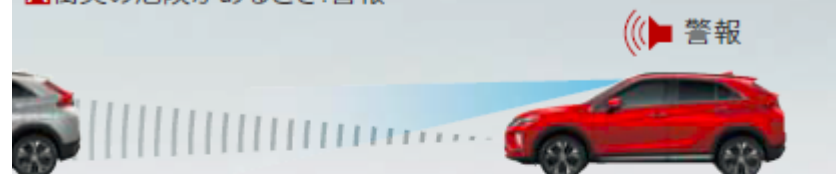
レーザーレーダーとカメラ、電波式レーダー (ACC 装着時) を用いて幅広い速度域に対応。前方車両や歩行者と衝突する危険性があると判断したときに作動します。**A** 衝突の危険を検知した場合は、表示と警報音で注意喚起し、ブレーキ操作時の応答性を高めます。さらに、**B** 衝突の危険性が高いと判断した場合は、やや強めのブレーキを作動させてブレーキ操作を促します。**C** 衝突が避けられないと判断した場合は、緊急自動ブレーキで衝突被害を軽減、または条件によって衝突を回避する機能です。

FCM=Forward Collision Mitigation system

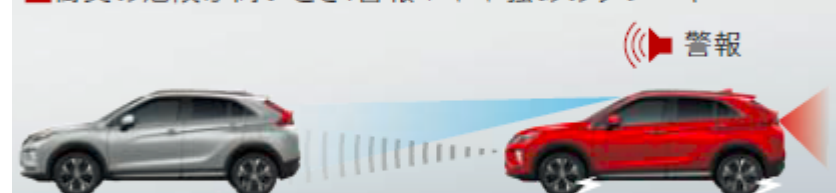
● 衝突被害軽減ブレーキは、前方車両に対しては自車速が約5~80km/h (ACC 装着の場合は前方車両に対しては自車速が約5~180km/h)、歩行者に対しては自車速が約5~65km/hのときに作動します。● 停止保持機能がないため、停止後、約2秒でブレーキは解除されます。停止を続ける場合は、ブレーキを踏んでください。● ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。● 電波式レーダーはACC装着時のみ装備されます。

1 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

A 衝突の危険があるとき: 警報



B 衝突の危険が高いとき: 警報 + やや強めのブレーキ



C 衝突の危険が極めて高いとき: 警報 + 緊急自動ブレーキ



※ACC装着車

ブレーキ!

警告画面

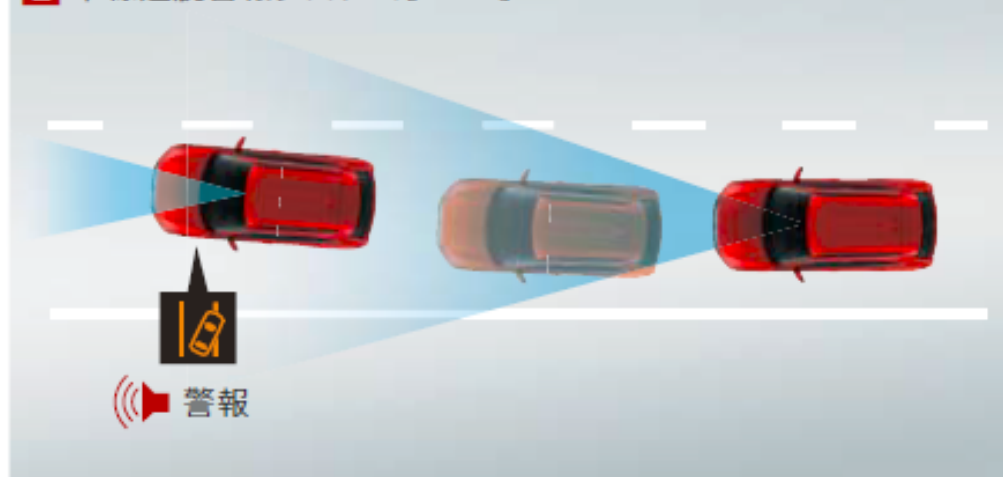
2 車線逸脱警報システム [LDW]

フロントガラス上方に装着したカメラにより、前方の車線位置を常時監視。車線を外れそうになると警報でドライバーに注意を促します。

LDW=Lane Departure Warning

- 車速約60km/h以上で作動します。
- ターンレバーをONからOFFにした後、約7秒間はLDWの作動を禁止します。
- 狭い車線幅では、LDWの作動を一時停止させます。

2 車線逸脱警報システム [LDW]



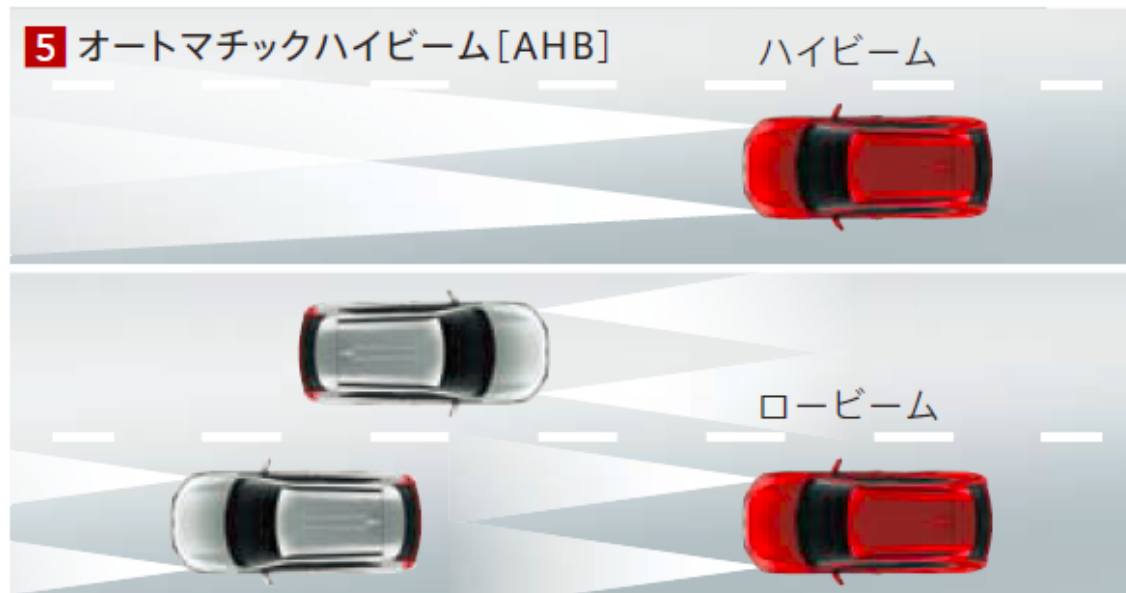
警告画面

5 オートマチックハイビーム[AHB]

周囲の明るさや対向車を検知し、状況に合わせて、自動的にハイビームに切り替えることにより、遠方視認性を高めるとともに、切り替え忘れや手動操作の煩わしさを軽減します。

AHB=Automatic High Beam

●道路状況および天候状態などによっては、ご利用になれない場合があります。



2 誤発進抑制機能(前進&後退時) [UMS]

フロント/リアバンパーに搭載の超音波センサーが進行方向に障害物を検知している状態で、踏み間違いなどの操作ミスによってアクセルペダルを素早く、強く踏み込んだ場合、警報とともにエンジン出力を抑制。前進時および後退時のシフトやペダルの操作ミスによる急発進を抑え、発進をゆるやかにして衝突被害を軽減します。

UMS=Ultrasonic misacceleration Mitigation System

- 停車状態～約10km/hで作動します。
- 網目状のフェンスや鋭角的な形状のものなど、超音波が反射しにくいものに対しては作動しない場合があります。
- 誤発進抑制機能は、車両の停止状態を保持する機能はありませんので、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んでください。

